

森林経営

教 科	農 業 科	単 位 数	2 単 位	学 科 ・ 学 年	森林科学科・3年
使用教科書	森林経営（実教出版）				
副教材など	プリント・資料				

科目の概要、到達目標

○森林の多様な機能と、その重要性を理解するとともに、森林の状況を正しく把握・評価するための基礎的な知識と技術を習得し、森林を総合的・持続的に経営する力を身に付けます。

学習計画、自己評価

期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	自己評価	
前 期	4	1 わが国と世界の森林	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の森林の現状 ・木材の需給動向 	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国と世界の森林資源の現状や木材の需給動向について理解し、森林・林業の課題について考える。 	()
	5	2 森林経営の目標と組織	<ul style="list-style-type: none"> ・森林計画制度、施業計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な森林経営の推進や多面的機能の発揮などを旨とするわが国の森林政策、森林計画制度と施業計画に関する知識を習得する 	()
	6 7 8 9	3 森林の測定と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・演習林や地域の森林での実習を通して、森林経営に必要な材積や成長量等生産物数量などの測定に関する知識と技術を身に付ける。 	()
後 期	10	5 森林・林業制度と政策	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートセンシングの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林を広域的に調査把握するため、リモートセンシングを利用した森林情報の収集と分析に関する知識と技術を身に付ける。 	()
	11		<ul style="list-style-type: none"> ・森林の機能の評価 ・森林関係法規 ・森林の各種制度 ・木材の流通 ・治山の重要性、治山工事、山腹工事 ・農山村の振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の多面的な機能を適切に評価するための知識と技術を身に付ける。 	()
	12			<ul style="list-style-type: none"> ・森林の各種の政策、制度を理解している。 	()
	1			<ul style="list-style-type: none"> ・木材流通のしくみに関する基礎的知識を習得する。 	()
	2			<ul style="list-style-type: none"> ・治山の歴史を理解するとともに、治山の重要性を理解し、山地保全に関する知識を身に付ける。 	()
	3			<ul style="list-style-type: none"> ・農山村の現状と課題を理解し、今後の農山村振興に何が必要を主体的に判断できる。 	()
6	6 山地と農山村の保全				

評価の観点、方法

○観点別評価
 a 知識・技能（技術） b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度

○観点別評価の方法
 定期考査、授業での行動観察、提出物（課題プリント・授業ノート）、振り返りシート、パフォーマンステスト、発表などによって、ABCの3段階で評価します。

○観点別評価を均等に総括して評定（5段階）を決めます。

定期考査の範囲、課題

前 期	中間考査範囲	
	期末考査範囲	
	夏休みの課題	
後 期	中間考査範囲	
	学年末考査範囲	
	冬休みの課題	